

GAH NEWS

荒川区民総幸福度
GAH-Gross Arakawa Happiness

RILAC

No.9

平成23年11月

公益財団法人

荒川区自治総合研究所



写真：荒川区を訪問したブータン王国上院議長一行

荒川区民総幸福度 (GAH)とは

荒川区民の幸福度指標のこと。荒川区では、区民の皆さんの幸福度を数値化し、区政の指標とするため、現在、調査研究を進めています。

荒川区自治総合研究所の本「RILAC Library」

← GAHに関する本『あたたかい地域社会を築くための指標』（荒川区自治総合研究所編）第二版
子どもの貧困・会排除問題に関する本『子どもの未来を守る』（荒川区自治総合研究所編）→

全国の書店で絶賛発売中です！

平成23年11月 新刊

公益財団法人
荒川区自治総合研究所【編】

子どもの未来を
守る
子どもの貧困・会排除問題への
荒川区の取り組み

すべての子どもの
幸せのために

特別
対談

阿部

彩

×西川太一郎

国立社会保障・人口問題研究所
社会保障応用分析研究部長

荒川区長

三省堂

本号では、ブータン王国の幸福度 GNH
についてお知らせします。

あたたかい地域社会を
築くための指標

荒川区民総幸福度
（アラスカ・アラカワ・ハピネス・GAH）

荒川区自治総合研究所 編

八千代出版

荒川区のGAHとブータン王国のGNHについて

9月28日、参議院議長の招待で来日中のブータン王国ペンジョール上院議長と上院議員一行が荒川区を訪問しました。この視察は、ペンジョール議長らが区の「荒川区民総幸福度（GAH：グロス・アラカワ・ハッピネス）」についての取り組みに関心を持ったことから実現したもので、同議長一行は西川区長らと懇談後、汐入東小学校を訪れ児童と交流しました。



ブータン王国では、いち早く国民の幸福度「グロス・ナショナル・ハッピネス（GNH：国民総幸福量）」の向上を国家目標として提唱しており、その理念や取り組みは世界中から注目されています。GNHは、物質的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさをも幸福の尺度とし、伝統や文化、環境等を重んじ、人々が幸せを感じることができる国づくりを目指すといった考えです。

本年7月の国連総会でも、全加盟国に対し、経済・社会開発の達成および測定において人々の幸福という観点を一層取り入れるよう求める決議がなされました。当研究所でも、区民の誰もが幸福を実感できる地域社会を目指して荒川区民総幸福度（GAH）の研究に取り組んでいます。

先日、その研究成果の一部として、当研究所は、荒川区民総幸福度（GAH）の研究に関する中間報告書を公表しました。同報告書の中では、GAHについて、2つの考えを示しています。1つは、区民の皆さまの幸福度を指標化し、その動向を分析することで、より質の高いサービスの提供を実現させたいという考えです。同報告書では、先行的に検討した健康、子育て・保育分野の指標案につきましても、お示しました。そして、もう1つは、何が幸福かについて、皆さまと共に考えていきたいというものです。

荒川区民総幸福度（GAH）に関する研究が、あたたかい地域社会、分かち合いの社会を築くための第一歩になればと思います。今後も、当研究所では、GAHの研究に努めてまいります。区民の皆さまのご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

現時点での当研究所の研究成果につきましては、『荒川区民総幸福度（GAH）に関する研究プロジェクト中間報告書』をご覧ください。同報告書は、当研究所（区役所北庁舎3階）、区立図書館、区民事務所、情報提供コーナー（区役所本庁舎2階）で閲覧できるほか、当研究所ホームページ（<http://www.rilac.or.jp/>）でもご覧になれます。

GAH Gross
Arakawa
Happiness

編集発行 公益財団法人荒川区自治総合研究所

〒116-0002 東京都荒川区荒川2-11-1

TEL：03-3802-4861 FAX：03-3802-2592

URL：<http://www.rilac.or.jp/>

編集部より

本紙では、荒川区民総幸福度に関する最新動向やニュース等をお届けしていきます。左記のメールアドレスまで、ご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

荒川区自治総合研究所は、荒川区が抱える課題等について、多角的かつ中長期的な視点に立って調査研究を行い、区に政策提言等を行うことを目的として平成21年10月に設立された機関です。